

活動団体名

## ボナペティ



佐藤あい子会長



田町菜穂子さん



フードドライブで集まった野菜や食品

活動略歴\*\*\*\*\*発足：2014年6月  
団体名の「ボナペティ」とは、フランス語で「召しあがれ」という意味。子どもたちの食と心の貧困問題に向き合い、支援活動の場を広げている。

### ■多世代食堂「ぎおんさんの森食堂」

毎月第4日曜日

場所：府中公民館（御井町 387）

参加費：子ども 100 円、大人 300 円

※開催時間は季節により異なる

### ■フードドライブ（家に眠る食材の寄付会）

第2火曜、第4土曜の月2回

場所：活動事務所「ボナルーム」

御井朝妻 1-11-21 カーサ・エスメラルダ B 棟 101

詳細はこちら ▽

HP：<https://www.bona-kurume.net/>

心の中に「平和のとりで」が築ける大人になってほしいと願いながら、子どもへの支援活動を続けている、会長の佐藤あい子さんと事務局長の田町菜穂子さんにお話を伺いました。

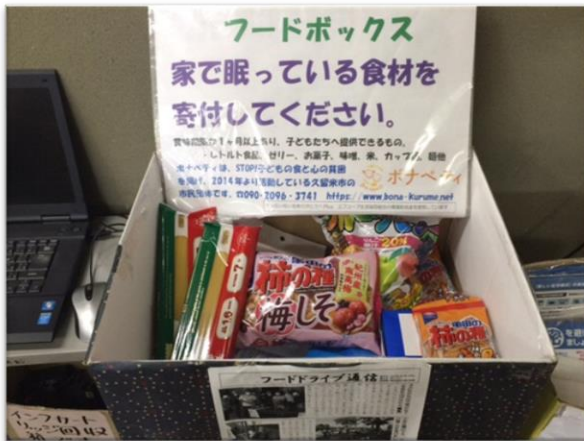
## 子どもの笑顔を増やしたい

2014年、日本の子どもの貧困問題についての勉強会をきっかけに発足しました。活動の第一歩として始めたのは「おにぎり隊」です。ひとり親家庭の受験生を対象にした無料塾の主催者から、家に帰ってもご飯がないという子がいると聞き、少しでもお腹を満たして勉強の励みになればと開始しました。毎月2回、寄付でいただいた2升のお米を炊き、3～4人でせっせと握ります。「お店のおにぎりより、ごはんがぎゅっと詰まっていて美味しい！」と、子どもたちは喜んでいます。「私たちの愛がたっぷり入っているからよ！」と、伝えていきます。こうして昨年新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出るまでの5年間、おにぎりを欠かさず届けていました。

## こんな時だからこそ、もったいないをありがとうへ

家庭に眠る食品などを集め、必要な人に配る「フードドライブ」の活動は、今年で6年目。支援を必要とする約70世帯に毎月2回配布しています。コロナ禍で、多くの人に関心を持つようになったこの取り組みは、一般家庭などで買い過ぎた食品、使わずに余っている食品を寄付してもらい、必要とする家庭へ届ける支援です。社会が不安定になっている今、多くの人支援を必要としていると、強く感じています。

一方で誰もが手軽に参加できる、支援方法として「フード・ボックス」があります。収集用の箱を職場などに置いてもらい、関心を持ってもらうもの。「ちょっと買い過ぎちゃったな」というその日のおやつから、インスタント食品やジュース、調味料など常温保存ができ、賞味期限が1か月以上ある食品をお願いします。1つの箱を通じ、困っている人とつながることができます。さらに、この活動は、食べ物を廃棄せずに活用できるため、日本の大きな課題ともなっている「フードロス運動」につながります。



「フードボックス」の設置の様子



コロナ禍前はみんなで調理を楽しんでいた

## わいわい賑やかな多世代食堂

毎月1回開催している「ぎおんさんの森食堂」は、大人も子どもも一緒になって、作って食べる！を楽しむ場所として、たくさんの方の交流を重ねてきました。子どもに食事を提供するだけでなく、野菜を洗い、切り、食事を作るという体験を通して、普段の生活の中でも役立ててもらいたいと思っています。積極的に作ることを楽しんでいる子もいますし、「家でもお手伝いをしてくれるようになった」と保護者から嬉しい報告もあり、活動の励みになっています。

また、この食堂は誰でも利用でき、いろんな人に関心を持ってきています。学校の授業をきっかけに足を運んでくれている大学生は、パワフルな子どもと一緒に遊んでくれたり、ご近所のお年寄りも、子どもと将棋を指したりと多世代の交流の場にもなっています。その他にも、近くの高良山へみんなでハイキングに出かけたり、太鼓の演奏会を開いたり、食事だけではなく、いろんな体験の機会も作っています。

社会の課題でもある貧困の問題は、とても複雑ですが、孤立しがちな子どもたちに寄り添うことが大

事です。子どもたちには、この場所で少しでも何かを得て、自己肯定感や幸福感を持つことにつながってほしいと思いますし、周囲の大人や地域の人には、こういった活動に関心を持ってもらい、子どもたちの現状や支援の重要性を考えるきっかけになればと思います。

現在、多世代食堂は、新型コロナウイルス感染防止対策として、一緒に調理をしていませんが、一日も早く感染拡大が収まり、子どもたちと一緒にご飯の用意を楽しめる日が来ることを願うばかりです。



おにぎり隊の愛情入りおにぎり



小物づくりの様子

## たくさんの応援に感謝

私たちの活動に欠かせないものが「支援物資」です。私たちは、寄付で集まった着物や古布でメンバーが手作りしたあずま袋や腕カバーなどを販売し、運営費などに充てていますが、支援活動にはみなさんの協力が不可欠です。

現在、個人の方はもちろん、市内の企業や商店、寺院など、本当に様々な方から協力をいただき、支援が必要な人に物資を届けたり、食事を提供したり出来ています。

食堂の開設日には、活動を知った農家の人がたくさんの野菜を持ってきてくれて、その日のおかずが一品増えるなど、うれしいサプライズもあります。このように活動に賛同し、応援してくださるみなさんのおかげで、笑顔の輪が広がっています。

### ◆物資協力をお願い◆

#### ・直接持ち込む場合

フードドライブ実施日のみ活動事務所を開けています。

実施日はホームページでお知らせしている他、事務所看板に表示もしています。

#### ・フードボックス設置

物資が集まった時に連絡をいただければ、取りに伺います。

※詳しくは、ボナペティ事務局へ